

<多様性を認め合う>

校長 佐藤 幹彦



後期が始まって2週間ほど経ちました。どの学年も、後期の学級組織をほぼ決定し、新たな委員会・係活動や班活動がスタートしたところです。

先週10月28日に、美濃市中学校制服検討委員会の方々が本校を訪問されました。訪問の目的は、中学校生活に深くかかわる制服問題について、美濃市教育委員会として慎重に検討を進めるために、2年前より新たな制服を導入している本校を訪問し、実際の生徒の様子を参観するためにお越しいただいたものです。参観された皆さんからは、生徒たちの大変落ち着いた姿や授業に取り組む姿勢等についてお褒めの言葉をいただきましたが、その中で、「これまでの制服と新制服が自然な形で混在している。生徒たちは、リボンやネクタイ、スカートやパンツ等、様々な選択肢がある中で、それぞれの好みなどによって違った格好をしていても、お互いに違和感なく自然な形で認め合っている姿がすばらしい。」とか、「人の生き方、考え方等、まさに多様性が求められる時代にまさにマッチしている生徒の姿である。」といったご感想をいただきました。



こういった感想は、まさに本校が新制服を導入する際に目指した姿でもあったので、外部の方々からお聞きすることができて、大変うれしく思いました。始業式では、「前期よりも質的にレベルアップした「元気」と「笑顔」を求めたい。」ということをお話しましたが、後期になってから、自分をさらに高めようと、一段と頑張りだした子が増えてきたように感じます。これからも、「集団生活の中でルールを守って生活する姿」「お互いの違いを認め合って、相手を大切にする姿」を大切にして、「みんな違ってみんないい!」という思いから生まれ出てくる「元気」と「笑顔」を期待しています。